

P マークと ISMS の 違いと選び方

同じ情報認証でも守る対象が全く違う

JIS 規格・ISO 規格・5 軸で判断基準を徹底解説



どっちも情報を守るやつでしゅか？

守る対象がまるで違う。混同するな





セキュリティプロ・フリーランス

✓ 登録・利用 完全無料



最高月収150万円

月額80万円以上の案件が

80%以上を占める高単価



リモート率80%以上

フルリモート対応可能案件多数

自由な働き方を実現



専門特化サポート

セキュリティ領域に精通した

専任エージェントが伴走



フリーランス案件マッチング

- ✓ 高単価案件から長期安定稼働の案件まで多数保有
- ✓ 脆弱性診断、SOC構築、ゼロトラスト導入など幅広い専門案件
- ✓ 面倒な営業活動・単価交渉・契約手続きは全て代行



キャリアサポート

- ✓ 業界に精通したエージェントがあなたの市場価値を最大化
- ✓ 独立支援（会社員から個人事業主、法人設立までサポート）
- ✓ 定期的な技術情報共有会、起業支援パックの提供



支払サイト

月末締め翌月払い (30日サイト)



案件参画スピード

2週間～1カ月程度

詳細を見る →

● Pマーク（プライバシーマーク）の基本



守る対象

個人情報・マイナンバーに限定



準拠規格・付与機関

JIS Q 15001 ・ JIPDEC（国内）



Pマークの核心

個人情報保護に特化した国内制度だ



● ISMS（情報セキュリティ MS）の基本



守る対象

顧客情報から技術情報まで全情報資産



準拠規格・国際通用性

ISO/IEC 27001 ・ 世界共通の規格



ISMS の核心

情報資産全般を国際規格で守る仕組みだ

● P マークと ISMS を 5 軸で比較

P マーク

個人情報特化・国内向け

- ・ 個人情報・マイナンバーのみ対象
- ・ JIS Q 15001（国内規格）
- ・ 2年ごとの更新審査
- ・ BtoC・国内取引で評価

VS

ISMS

全情報資産・国際向け

- ・ 顧客情報から技術情報まで全資産
- ・ ISO/IEC 27001（国際規格）
- ・ 毎年維持審査＋3年ごと更新
- ・ BtoB・海外取引で求められる



5 軸比較の軸

守る範囲と通じる相手が全く違う

● 保護対象の範囲が全ての起点



P マークの守備範囲

個人情報とマイナンバーのみ



ISMS の守備範囲

個人情報を内側に含む全情報資産



対象範囲の核心

守りたい情報の中身が選ぶ認証を決める

● 審査サイクルと費用の比較

P マーク（2 年更新）



更新サイクル

2 年ごとに更新審査のみ



費用の傾向

範囲設計次第で抑えやすい

ISMS（毎年審査）



審査サイクル

毎年維持審査 + 3 年ごと更新



費用相場

コンサル 100 ～ 300 万・審査 50 ～ 100 万

年次負荷は ISMS が重い



● 自社に合う認証を選ぶ3つの基準



個人情報を中心の業態

人材・EC・医療・教育ならPマーク



情報資産全般・海外取引

受託開発・SaaS・海外ならISMS



両方必要なケース

段階的取得が現実的・スコープは絞る



3基準とも取引先の要請が最終的な決め手になる



● 段階的取得という現実的な戦略



取得の優先順位

取引先要請が強い認証から先に取り



スコープを絞る理由

範囲を欲張ると維持体制が詰まる



取得戦略の核心

まず1つを深く取り、需要に合わせて広げろ

● 認証支援のフリーランス案件

1

認証取得コンサル

体制構築・ギャップ分析・規程設計を担う

2

文書・記録の整備

規程・手順書の作成と運用記録の設計

3

内部監査の支援

監査の実施と指摘事項の是正対応

4

維持管理・更新

審査対応と継続的な運用改善

継続案件の宝庫だ。掘みに行け



● 案件の単価目安と資格の積み上げ

フリーランス単価の目安



一般・運用案件

月 70 ～ 80 万円前後が目安



上流・設計案件

月 90 ～ 120 万円前後



CISO 代行クラス

月 120 万円前後から

技術 × 管理が高単価の道



資格の積み上げ順



土台資格

情報処理安全確保支援士・ CISSP



専門資格

CISA ・ ISMS 審査員補で監査力を加える

● よくある誤解：代替関係にない



ISMS で P マークは不要か？

取引先が P マーク指定なら別途必要



取得にかかる期間は？

数か月～1年・運用実績の積み上げが必要



誤解の核心

どちらが上位でもなく守る対象が違う



● まとめ | P マークと ISMS の違いを武器にする



P マークは個人情報・国内、ISMS は全資産・国際で守る対象がまるで違う



認証は業態と取引先の要請で選ぶ。焦って両方取ると運用に潰される



違いを語れる人材が認証支援・GRC 案件で継続的に稼げる

NEXT ACTION

まずは市場価値の無料相談・登録

[セキュリティプロ・フリーランス >](#)

